

公益社団法人 物理探査学会

平成28年度通常総会資料

日 時 平成28年5月17日(火)12:40～14:50

場 所 東京 早稲田大学 国際会議場 井深大記念ホール

東京都新宿区西早稲田 1-20-14

総会次第

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 総会開始の宣言
4. 議 事

決議事項

- | | |
|-------|----------------------|
| 第1号議案 | 平成27年度事業報告及び決算報告承認の件 |
| 第2号議案 | 平成28年度・29年度役員選任の件 |

報告事項

平成28年度事業計画及び予算について

(休 憩)

5. 平成27年度 物理探査学会表彰
 - (1) 物理探査学会賞
 - (2) 優秀発表賞
 - (3) 永年在籍会員表彰
6. 新・旧会長挨拶
7. 閉会の辞

第 1 号議案:平成27年度事業報告及び決算報告承認の件

I. 平成 27 年度事業報告

平成 27 年度はこれまで実施してきた研究開発奨励事業, 探査技術の普及促進事業, 広報活動, 研究活動及び表彰等の事業を継続, 発展させるとともに, 会員へのサービスの拡大, 並びに一般社会への貢献活動にも力を注いでまいりました。

1. 学会事業活動

[1] 研究発表会の開催

(1) 第 132 回学術講演会

- ・開催日 平成 27 年 5 月 11 日(月)～ 5 月 13 日(水)
- ・開催場所 早稲田大学 西早稲田キャンパス(東京)
- ・一般講演 口頭発表 57 件, ポスター発表 8 件
- ・特別講演
「二酸化炭素地中貯留 (C C S) に関する国内外の技術動向」
田中 豊 (日本 CCS 調査株式会社)
「原発災害に伴うオフサイトの除染・廃棄物処分問題の現状と今後の展望」
大迫 政浩 ((国研) 国立環境研究所)

- ・参加者 226 名

(2) 第 133 回学術講演会

- ・開催日 平成 27 年 9 月 24 日(木)～ 9 月 26 日(土)
- ・開催場所 石川県文教会館 (金沢)
- ・一般講演 口頭発表 52 件, ポスター発表 9 件
- ・特別講演
「海洋掘削が拓く地球最後のフロンティア: モホール計画 M2M 一前人未踏のマントルへの挑戦」
海野 進(金沢大学)
「幕末に金沢を訪れた英国人が驚いたこと」 徳田 寿秋(元石川県立歴史博物館)

- ・参加者 132 名

- ・見学会 白山手取川ジオパーク

(3) Near Surface Geophysics Asia Pacific Conference 2015

- ・開催日 平成 27 年 7 月 7 日(火)～ 7 月 10 日(金)
- ・開催場所 Hilton Waikoloa Village (ハワイ)
- ・参加者 150 名

(4) 第 12 回国際シンポジウム

- ・開催日 平成 27 年 11 月 18 日(水)～11 月 21 日(土)
- ・開催場所 東京大学伊藤国際学術研究センター (東京)
- ・参加者 109 名

[2] 会誌, 書籍の編集発行等の事業

(1) 和文会誌発刊

和文誌「物理探査」は Vol.68, No.2～No.4 および Vol.69, No.1 の 4 号を発行した。

(2) 英文会誌発刊

豪州物理探査学会 (ASEG) ・韓国物理探査学会 (KSEG) との共同で出版する英文誌「Exploration Geophysics」について 4 号(電子版)を発行した。

(3) 改訂版「物理探査ハンドブック」の編集

平成 11 年に発刊した「物理探査ハンドブック」の在庫がなくなったため、記載内容の一部を書き換える作業を行った。

(4) 技術資料等の頒布

既存の以下の技術資料等の出版物を継続して頒布した。

・物理探査ハンドブック	34 冊
・旧版物理探査適用の手引き(英文)	26 冊
・最新の物理探査適用事例集 冊子・CD	50 冊
・新版物理探査適用の手引き 冊子・CD	81 冊
・会誌「物理探査」 DVD(第 1 巻～第 60 巻)	13 冊
・学術講演会論文集 DVD(第 43 回～第 118 回)	12 冊
・国際シンポジウム論文集 DVD(第 1 回～第 8 回)	8 冊

[3] 研究開発, 調査, コンソーシアム活動等の事業

(1) 研究会活動

電気探査研究会

- ・開催日 平成 27 年 4 月 16 日 (木)
- ・開催場所 早稲田大学西早稲田キャンパス
- ・参加者 51 名

地盤探査研究会および地震防災研究会は開催しなかった。

(2) 研究委員会活動

- ・河川堤防研究委員会は前年度に引続き、河川堤防の安全性評価に係る研究を実施した。
- ・統合物理探査研究委員会は物理探査技術が有用な調査技術として利用拡大されることを目的とし、物理探査技術の適切な適用および探査結果の適切な解釈による地盤の評価がプロジェクト全体に及ぼす効果について検討した。また、国土交通省等に納品する物理探査データの電子データの書式について検討し、電子納品要領の叩き台を作成した。

(3) 委託研究・研究助成金

- ・平成 27 年度堤防及び河川構造物の総合的な点検・診断技術の実用化に関する研究開発(その 2)〔国土技術政策総合研究所〕委託研究費 10,173,600 円
- ・平成 27 年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(研究成果公開促進費)「研究成果公開発表」補助金 3,900,000 円

[4] 講座, セミナーの開催, 関連学協会との協力等の事業

(1) 物理探査セミナー

- ・開催日 平成 27 年 7 月 7 日 (火) ～7 月 9 日 (木)
- ・開催場所 東京大学 山上会館
- ・参加者 71 名

(2) ワンデーセミナー

- ・開催日 平成 28 年 2 月 3 日 (水)
- ・開催場所 東京大学 山上会館
- ・テーマ 空からの物理探査
- ・参加者 52 名

(3) キャンパスビジット

- ・開催日 平成 27 年 6 月 22 日 (月)
- ・開催場所 北海道大学工学部
- ・タイトル 地球のお医者さん～物理探査の最前線～

- ・参加者 41名

(4)市民公開講座

- ・開催日 平成27年11月19日(木)
- ・開催場所 東京大学伊藤国際学術研究センター
- ・タイトル 地球のお医者さん 物理探査—地下資源探査から地震防災まで
- ・参加者 60名

(5) 関連学協会との連携・協力

① 国内関連学協会

(公社)日本地球惑星科学連合, (一社)資源・素材学会, (一社)日本リモートセンシング学会, 日本地熱学会, (公社)日本地震学会, (一社)日本応用地質学会, (公社)地盤工学会, (公社)計測自動制御学会, 石油技術協会と講演会等で相互に協力した。

② 日本地球惑星科学連合大会

「空中からの地球計測とモニタリング」のセッションを立ち上げ発表を行った。

③ 日本応用地質学会と連携

土木建設分野における地質調査の精度向上を目指し, (一社)日本応用地質学会と連絡委員会を開催した。

- ・(一社)日本応用地質学会と物理探査学会共催するシンポジウム

タイトル: 土地地質図の信頼性に関する課題とその対策—物理探査の活用による土地地質調査の信頼性向上と効率化に向けて—

開催日: 平成27年6月12日(金)

開催場所: 東京大学柏キャンパス

参加者 200名

- ・(一社)日本応用地質学会北海道支部・北海道応用地質研究会主催研究発表会

開催日: 平成27年6月19日(金)

開催場所: 土木研究所寒地土木研究所

参加者 57名

④ 地質・地盤情報協議会

国土交通省の委託を受け(一社)日本建築情報センターが開催する社会基盤情報標準化委員会 地質地盤情報電子データ標準化小委員会に(一社)全国地質調査業協会連合会の一員として参加し, 物理探査に係わる電子納品の書式作成について提案することになった。

⑤ 地質・地盤情報協議会

地質・地盤データの利活用のための法整備を推進する目的で, (国研)産業技術総合研究所を中心に地質・地盤情報活用促進に関する法整備推進協議会へ参加した。

⑥ 海外関連学会

下記関連国際学会の講演会・年次総会に参加して国際交流を深めると共に, 国際レベルの物理探査技術を会誌, ホームページ等を通じて紹介した。

- ・欧州物理探査学会(EAGE)
- ・米国物理探査学会(SEG)
- ・環境土木物理探査学会(EEGS)
- ・豪州物理探査学会(ASEG)
- ・韓国物理探査学会(KSEG)
- ・中国石油物理探査学会(SPG China)
- ・ベトナム物理探査学会(VGA)
- ・インドネシア物理探査学会(HAGI)

⑦ SEG および EAGE 教育プログラムの開催支援

海外の関連学会 SEG および EAGE が主催し、日本国内で実施する下記の物理探査技術の普及・啓蒙活動に対して参加者の募集、会場の運営等、その支援を行った。

・ SEG 2015 Distinguished Instructor Short Course (DISC)

演題：Engineering Seismology with Applications to Geotechnical Engineering

講師：Öz Yilmaz (Anatolian Geophysical)

開催日：平成 27 年 9 月 9 日 (水)

開催場所：首都大学東京 秋葉原サテライトキャンパス

参加者 33 名

・ SEG Near Surface Honorary Lecture (Near Surface HL)

演題：The curse of dimensionality in exploring the subsurface

講師：Hansruedi Maurer (ETH Zürich)

開催日：平成 27 年 10 月 15 日 (木)

開催場所：早稲田大学西早稲田キャンパス

参加者 38 名

・ EAGE Education Tour 9 (EET9)

演題：Satellite InSAR Data: Reservoir Monitoring from Space

講師：Alessandro Ferretti (Tele-Rilevamento Europa)

開催日：平成 27 年 11 月 17 日 (火)

開催場所：東京大学伊藤国際学術研究センター

参加者 19 名

(5) 技術士継続教育活動

平成 27 年度も関係 7 学協会と連携して生涯学習支援システムの共同運営を継続し、会員の技術士継続教育活動をサポートした。

[5] 物理探査に係る広報活動事業

(1) 物理探査ニュース

「物理探査ニュース」No.26 から No.29 の 4 巻の発行を行い会員に配布するとともに関係機関に無償で配布した。

(2) ホームページ

学会ホームページを見易くかつ親しみやすいものへ更新し、WEB を通じて広報に係る活動を実施した。

(3) 出版物の寄贈

学会が発行している「新版物理探査適用の手引き—土木物理探査マニュアル 2008—」および「最新の物理探査適用事例集」を関係機関に贈呈した。

[6] 物理探査学に係る研究、活動に対する表彰事業

平成 27 年度通常総会において、平成 26 年度物理探査学会表彰を行った。

(1) 物理探査学会賞

① 論文賞

・受賞者：佐藤 浩章

・対象論文：佐藤浩章 (2012)：地震動評価のための地表に近い岩盤における減衰の測定とそのモデル化、物理探査、第 65 巻 1&2 号, 37-52.

② 事例研究賞

・受賞者：鈴木 浩一、狩野 嘉昭

・対象論文：鈴木浩一・狩野嘉昭 (2014)：沿岸域埋め立て地における周波数領域電磁探査法

の埋設物探査への適用, 物理探査, 第 67 巻 2 号, 121-133.

③ 奨励賞

- ・受賞者 : 岩田 直泰
- ・対象論文: 岩田直泰・津野靖士・山本俊六 (2014) : 宮崎県中部沿岸部における線状連続の S 波速度構造および地震動の推定, 物理探査, 第 67 巻 2 号, 95-106.
- ・受賞者 : 石田 勇介
- ・対象論文: 石田勇介・野口竜也・香川敬生・盛川 仁 (2014) : 中国地方北部域における重力・磁気データを用いた 3 次元基盤構造モデル推定の試み, 物理探査, 第 67 巻 3 号, 157-170.

(2) 優秀発表賞

① 第 130 回学術講演会

- ・口頭発表 吉光 奈奈, 若林 恭子

② 第 131 回学術講演会

- ・口頭発表 今井 嵩公, 新色 隆二
- ・ポスター発表 Selepeng Ame Thato

(3) 学会運営功績賞

相澤 隆生, 須藤 公也

対象: 「Application Manual of Geophysical Methods to Engineering and Environmental Problems」EAGE 版の製作ならびに発刊に係わる一連の業績

(4) 永年在籍会員表彰

① 在籍 30 年以上, 満 70 歳以上

伊藤 潔, 小西 尚俊, 戸室 勝敏, 中川 康一, 早田 守廣

② 50 年在籍賛助会員

サンコーコンサルタント株式会社

興亜開発株式会社

株式会社ダイヤコンサルタント

③ 30 年在籍賛助会員

株式会社ドリリング計測

西日本技術開発株式会社

株式会社地球科学総合研究所

一般財団法人地域地盤環境研究所

(5) 名誉会員表彰

津 宏治

齋藤 徳美

(6) 功労者表彰 (臨時)

田村 八洲夫, 竹内 睦雄, 佐々木 裕, 茂木 透

[7] その他目的を達成するために必要な事業

学会の活性化を図るため継続して学会業務の I T 化を推進すると共に, 学会ホームページの維持管理を行った。

60 周年記念時に作成した図書ならびに DVD のうち, 在庫過多のものについて廃棄をした。

2. 学会の経営・運営に関する会議の開催

[1] 通常総会

平成 27 年 5 月 12 日(火), 東京, 早稲田大学西早稲田キャンパスにて開催した。

[2] 理事会

下記のとおり理事会を開催した。

第 80 回理事会	平成 27 年 4 月 15 日	物理探査学会会議室
第 81 回理事会	平成 27 年 7 月 17 日	物理探査学会会議室
第 82 回理事会	平成 27 年 10 月 9 日	物理探査学会会議室
第 83 回理事会	平成 28 年 1 月 28 日	物理探査学会会議室

[3] 運営幹事会

下記のとおり運営幹事会を開催した。

第 34 回運営幹事会	平成 27 年 11 月 6 日	物理探査学会会議室
-------------	------------------	-----------

3. 会員状況

	平成 27 年 3 月末	平成 28 年 3 月末	増 減
名誉会員	23 名	23 名	増減なし
正会員 (内 学生会員)	1149 名 53 名	1165 名 45 名	16 名増 8 名減
賛助会員	106 社 222 口	108 社 222 口	2 社増口数増減なし

以上

I. 平成 27 年度決算報告

貸借対照表

平成28年 3月31日現在

公益社団法人 物理探査学会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	18,599,076	16,450,459	2,148,617
売掛金	121,380	17,280	104,100
未収金	10,173,600	9,045,000	1,128,600
棚卸資産	1,845,658	3,201,388	△ 1,355,730
立替金	557,344	0	557,344
流動資産合計	31,297,058	28,714,127	2,582,931
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
公益目的運用特定資産	21,000,000	21,000,000	0
特定資産合計	21,000,000	21,000,000	0
(2) その他固定資産			
敷金	660,000	660,000	0
その他固定資産合計	660,000	660,000	0
固定資産合計	21,660,000	21,660,000	0
資産合計	52,957,058	50,374,127	2,582,931
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	1,638,435	△ 1,638,435
前受金	488,240		488,240
前受会費	103,500	76,500	27,000
預り金	89,512	124,592	△ 35,080
未払消費税等	677,700	546,500	131,200
流動負債合計	1,358,952	2,386,027	△ 1,027,075
負債合計	1,358,952	2,386,027	△ 1,027,075
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(21,000,000)	(21,000,000)	
正味財産合計	51,598,106	47,988,100	3,610,006
負債及び正味財産合計	52,957,058	50,374,127	2,582,931

正味財産増減計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

	当年度	前年度	増 減
科 目			
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	5,247	5,247	0
受 取 会 費	13,376,030	11,477,142	1,898,888
正会員会費収入	9,036,030	7,157,142	1,878,888
賛助会員会費収	4,340,000	4,320,000	20,000
事業 収 益	30,059,572	26,808,825	3,250,747
開催事業 収入	10,788,840	4,790,800	5,998,040
受取投稿料	282,200	150,000	82,200
頒布事業 収入	2,952,732	2,927,065	△ 574,339
受託 事 業	16,686,000	18,941,160	△ 2,255,160
受取補助金	4,198,000	1,600,000	2,598,000
受取寄付金	1,588,080	2,191,000	△ 602,920
一般寄付金	1,588,080	2,191,000	△ 602,920
雑 収 入	310,928	228,208	82,720
経常収益計	49,537,857	42,310,422	7,227,435
(2) 経常費用			
事業 費	43,235,686	42,626,735	608,951
給料手当	5,322,768	6,352,474	△ 1,029,706
臨時雇賃金	1,151,500	1,437,420	△ 285,920
退職給付費用	408,136	403,960	4,176
福利厚生費	446,020	445,455	565
旅費交通費	2,375,803	4,334,843	△ 1,959,040
会議 費	1,225,570	607,463	618,107
通信運搬費	738,345	925,741	△ 187,396
消耗品費	321,102	494,317	△ 173,155
印刷製本費	4,733,475	5,543,337	△ 809,862
光熱水料費	325,128	336,728	△ 10,600
賃借料	8,336,893	10,068,474	△ 1,731,581
保険料	8,513	29,914	△ 20,401
諸 謝 金	2,109,114	866,329	1,242,785
出版物原価	882,400	203,444	678,956
支払負担金	153,548	162,162	△ 8,614
表彰品費	179,076	201,186	△ 22,110
支払寄付金	202	0	202
支払奨励金	19,200	0	19,200
支払手数料	404,793	218,227	186,566
租 税 公 課	591,955	453,342	138,613
委託 費	13,033,896	9,062,228	3,971,670
雑 費	433,189	461,193	△ 27,996
管 理 費	2,692,165	2,408,699	283,466
給料手当	937,232	1,007,528	△ 70,296
退職給付費用	71,864	76,040	△ 4,176
福利厚生費	78,535	83,849	△ 5,314
旅費交通費	76,243	89,560	△ 14,317
会議 費	13,550	16,660	△ 3,110
通信運搬費	29,095	47,817	△ 18,722
消耗品費	41,265	32,755	8,510
印刷製本費	20,651	32,733	△ 12,132
光熱水料費	49,698	46,278	3,420
賃借料	637,933	680,271	△ 42,338
保険料	1,497	1,588	△ 89
支払手数料	28,915	28,329	586
租 税 公 課	101,535	88,158	13,377
支払負担金	4,492	15,278	△ 10,786
委託 費	114,449	95,050	19,399
雑 費	436,156	64,753	371,403
経常費用計	45,927,851	45,093,473	834,378
評価損益調整前当期増減額	3,610,006	△ 2,723,056	6,333,062
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	3,610,006	△ 2,723,056	6,333,062
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
税引前一般正味財産増減額	3,610,006	△ 2,723,056	6,333,062
法人住民事業税	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,610,006	△ 2,723,056	6,333,062
一般正味財産期首残高	47,988,100	50,711,156	△ 2,723,056
一般正味財産期末残高	51,598,106	47,988,100	3,610,006
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	51,598,106	47,988,100	3,610,006

公益社団法人 物理探査学会

正味財産増減計算書内訳表

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

	公益目的 事業会計	法人会計	合計
科 目			
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	5,247	0	5,247
受取会費	8,858,015	4,518,015	13,376,030
正会員会費収入	4,518,015	4,518,015	9,036,030
賛助会員会費収入	4,340,000	0	4,340,000
事業収益	30,059,572	0	30,059,572
開催事業収入	10,788,640	0	10,788,640
受取投稿料	232,200	0	232,200
頒布事業収入	2,352,732	0	2,352,732
受託事業	16,686,000	0	16,686,000
受取補助金	4,198,000	0	4,198,000
受取寄付金	1,588,080	0	1,588,080
一般寄付金	1,588,080	0	1,588,080
雑収入	306,801	4,127	310,928
経常収益計	45,015,715	4,522,142	49,537,857
(2) 経常費用			
事業費	43,235,686	0	43,235,686
給料手当	5,322,768	0	5,322,768
臨時雇賃金	1,151,500	0	1,151,500
退職給付費用	408,136	0	408,136
福利厚生費	446,020	0	446,020
旅費交通費	2,375,803	0	2,375,803
会議費	1,225,570	0	1,225,570
通信運搬費	738,345	0	738,345
消耗品費	321,162	0	321,162
印刷製本費	4,738,475	0	4,738,475
光熱水料費	325,128	0	325,128
賃借料	8,336,893	0	8,336,893
保険料	8,513	0	8,513
諸謝金	2,109,114	0	2,109,114
出版物原価	862,400	0	862,400
支払負担金	153,548	0	153,548
表彰品費	179,076	0	179,076
支払寄付金	202	0	202
支払奨励金	19,200	0	19,200
支払手数料	404,793	0	404,793
租税公課	591,955	0	591,955
委託費	13,033,896	0	13,033,896
雑費	483,189	0	483,189
管理費	0	2,692,165	2,692,165
給料手当	0	937,232	937,232
退職給付費用	0	71,864	71,864
福利厚生費	0	78,535	78,535
旅費交通費	0	75,243	75,243
会議費	0	13,550	13,550
通信運搬費	0	29,095	29,095
消耗品費	0	41,265	41,265
印刷製本費	0	20,651	20,651
光熱水料費	0	49,698	49,698
賃借料	0	637,938	637,938
保険料	0	1,497	1,497
支払手数料	0	28,915	28,915
租税公課	0	101,585	101,585
支払負担金	0	4,492	4,492
委託費	0	114,449	114,449
雑費	0	486,156	486,156
経常費用計	43,235,686	2,692,165	45,927,851
評価損益調整前当期増減額	1,780,029	1,829,977	3,610,006
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,780,029	1,829,977	3,610,006
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,780,029	1,829,977	3,610,006
一般正味財産期首残高			47,988,100
一般正味財産期末残高			51,598,106
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高			0
指定正味財産期末残高			0
III 正味財産期末残高	0	0	51,598,106

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準方法は、先入先出法による原価法を採用している。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等は税込処理を行っている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
公益目的運用特定資産	21,000,000	0	0	21,000,000
合 計	21,000,000	0	0	21,000,000

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等は、一般正味財産からの充当額である。

4. 担保に供している資産

該当なし。

5. 保証債務等の偶発債務

該当なし。

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
平成27年度科学研究費助成金	(独)日本学術振興会	0	3,900,000	3,900,000	0	
学会開催事業補助金	石川県	0	100,000	100,000	0	
金沢市補助金	金沢市	0	50,000	50,000	0	
学会補助金	早稲田大学	0	148,000	148,000	0	
合 計		0	4,198,000	4,050,000	0	

7. 重要な後発事象

該当なし。

財産目録

平成28年 3月31日現在

公益社団法人 物理探査学会

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	現金預金	手元保管	運転資金として	9,953		
		普通預金	"	17,254,662		
		三菱東京UFJ・大森支店	"	3,878,588		
		三井住友・大森支店	"	205,072		
		三井住友・浅草橋支店	"	183,687		
		三菱東京UFJ・大森支店	"	3,002,482		
		三菱東京UFJ・大森支店	"	2,242,484		
		三井住友・大森支店	"	5,754,819		
		三井住友・大森支店	"	10,530		
		三井住友・大森支店	"	1,977,000		
		郵便貯金		1,334,461		
		岩本町郵便局・普通	"	21,071		
		岩本町郵便局・普通	"	1,021,627		
		岩本町郵便局・普通	"	291,763		
		売掛金	書籍頒布に伴う売掛		121,380	
		未収金	国土交通省研究開発費		10,173,600	
棚卸資産	書籍在庫品を倉庫にて保管		1,845,658			
英文適用の手引き			1,296,046			
60周年記念出版物			549,612			
立替金	会誌発刊に伴う別刷り代金等		557,344			
出版事業			557,344			
流動資産合計				31,297,058		
(固定資産)	特定資産	公益目的運用特定資産	定期預金	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	21,000,000	
			三井住友・大森支店		11,000,000	
			三菱東京UFJ・大森支店		10,000,000	
	その他固定資産	敷金	主たる事務所敷金	本部敷金であり、2/3を公益目的事業の用に供している	660,000	
固定資産合計				21,660,000		
資産合計				52,957,058		
(流動負債)	前受金	前受会費	前納会費	事務職員預り分	488,240	
					前受会費	103,500
					預り金	89,512
					未払消費税等	677,700
流動負債合計				1,358,952		
負債合計				1,358,952		
正味財産				51,598,106		

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細


財務諸表に対する注記2に記載のとおりである。

監査報告書

公益社団法人 物理探査学会
会長 齋藤 秀樹 殿

平成 28 年 4 月 4 日

公益社団法人 物理探査学会

監事 西田大介 

監事 中野 修 

私たちは、平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までの平成 27 年度における業務の監査を行い、次のとおり報告します。

1. 監査の方法及び内容

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討しました。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他重要な会議に出席し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討しました。

2. 監査意見

- (1) 正味財産増減計算書、貸借対照表及び附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益状況を全ての重要な点において適正に表示していると認めます。
- (2) 事業報告書の内容は事実であると認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以 上

第2号議案：平成28年度・29年度役員選任の件

物理探査学会規則第4章に基づき、役員（理事及び監事）選挙の公示を決議し、平成27年12月15日～平成28年1月30日の間、役員候補者の公募を実施致しました。その結果、定数の理事20名、監事2名に対して下記のとおり理事20名、監事2名の推薦があり、役員候補者選考委員会による資格審査を経て全員が役員候補者となりました。本総会では、候補者の理事、監事への選任についてそれぞれお諮り致します。なお、選任された役員の任期は平成30年度の通常総会において次期役員が選任されるまでの2年間となります。

平成28年度，29年度役員候補者一覧

会 務	氏 名	所 属 等	備考
理事候補	荒井 英一	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構	新任
	大熊 茂雄	(国研)産業技術総合研究所	重任
	大澤 理	国際石油開発帝石株式会社	重任
	大西 正純	株式会社ジオシス	新任
	小田 義也	首都大学東京	新任
	香村 一夫	早稲田大学	重任
	岸本 宗丸	日鉄鉱コンサルタント株式会社	新任
	黒田 清一郎	(国研)農研機構農村工学研究所	新任
	齋藤 秀樹	応用地質株式会社	重任
	鈴木 敬一	川崎地質株式会社	重任
	鈴木 浩一	(一財)電力中央研究所	重任
	高橋 明久	石油資源開発株式会社	重任
	田中 智之	株式会社地球科学総合研究所	新任
	千葉 昭彦	住鉱資源開発株式会社	重任
	松島 潤	東京大学	重任
	三木 茂	基礎地盤コンサルタンツ株式会社	重任
	光畑 裕司	(国研)産業技術総合研究所	重任
	山中 浩明	東京工業大学	重任
	山本 英和	岩手大学	重任
	渡辺 俊樹	名古屋大学	重任
監事候補	相澤 隆生	サンコーコンサルタント株式会社	新任
	西田 大介	西田会計事務所（公認会計士・税理士）	重任

平成28年度事業計画

I. 平成 28 年度事業計画

平成 28 年度は、これまで実施してきた研究開発奨励促進事業，探査技術の普及促進事業，広報活動，研究活動及び表彰等の事業を継続し，従来に増して発展させるとともに，会員へのサービスの拡大並びに一般社会への貢献にこれまで以上に力を注いで学会活動の充実を図ります。特に平成 28 年度には「物理探査ハンドブック」改訂版を発刊させ，探査技術の普及促進に注力するとともに，一般社会への貢献活動にもいっそう力を注いでまいります。

1. 学会事業活動

[1] 研究発表会の開催

物理探査学に係る研究開発の奨励促進を図るために以下の事業を実施する。

(1) 第 134 回学術講演会

- ・開催日 平成 28 年 5 月 16 日(月)～ 5 月 18 日(水)
- ・開催場所 早稲田大学 国際会議場 (東京)

(2) 第 135 回学術講演会

- ・開催日 平成 28 年 10 月 26 日(水)～10 月 28 日(金)
- ・開催場所 室蘭工業大学 (北海道)

[2] 会誌，書籍の編集発行等の事業

(1) 和文会誌発刊

和文誌「物理探査」は Vol.69,No.2～No.4 および Vol.70,No.1 の 4 巻を発行する。
なお，Vol.70,No.1 からは電子版への移行を目指す。

(2) 英文会誌発刊

豪州物理探査学会(ASEG)・韓国物理探査学会(KSEG) との共同で出版する英文誌「Exploration Geophysics」について 4 号(電子版)を発行する。

(3) 「物理探査ハンドブック」改訂版の発刊

改訂版「物理探査ハンドブック」を発行し，頒布する。

(4) 技術資料等の頒布

既存の以下の技術資料等の出版物を継続して頒布する。

- ・旧版物理探査適用の手引き(英文)
- ・最新の物理探査適用事例集 冊子・CD
- ・新版物理探査適用の手引き 冊子・CD
- ・会誌「物理探査」 DVD (第 1 巻～第 60 巻)
- ・学術講演会論文集 DVD (第 43 回～第 118 回)
- ・国際シンポジウム論文集 DVD (第 1 回～第 8 回)
- ・学術講演会論文集(冊子，CD)
- ・新版物理探査適用の手引き(英文)
- ・地下を診る技術～驚異の物理探査～ (電子版)

[3] 研究開発，調査，コンソーシアム活動等の事業

(1) 研究会活動

当期年度内には地盤探査研究会，電気探査研究会ならびに地震防災研究会活動を積極的に行う。

(2) 研究委員会活動

- ・ 統合物理探査研究委員会において、物理探査技術が有用な調査技術として利用拡大されることを目的とし、物理探査技術の適切な適用および探査結果の適切な解釈による地盤の評価がプロジェクト全体に及ぼす効果について検討する。また、国土交通省等に納品する物理探査データの電子データの書式を作成する。

[4] 講座、セミナーの開催、関連学協会との協力等の事業

(1) 物理探査セミナー

- ・ 開催日 平成 28 年 6 月 27 日から 29 日
- ・ 開催場所 東京大学 山上会館

(2) ワンデーセミナー

- ・ 開催日 平成 29 年 1 月下旬から 2 月中旬を予定
- ・ 開催場所 首都圏

(3) キャンパスビジット

- ・ 開催日 平成 28 年 6 月および平成 28 年 10 月を予定
- ・ 開催場所 北海道大学工学部環境社会工学科および室蘭工業大学での開催を予定

(4) 関連学協会との連携・協力

① 国内関連学協会

(公社)日本地球惑星科学連合、(一社)資源・素材学会、(一社)日本リモートセンシング学会、日本地熱学会、(公社)日本地震学会、(一社)日本応用地質学会、(公社)地盤工学会、(公社)計測自動制御学会、石油技術協会と講演会等で相互に協力する。

② 日本地球惑星科学連合大会

「統合物理探査」のセッションを立ち上げ発表を行う。

③ 日本応用地質学会と連携

土木建設分野における地質調査の精度向上を目指し、(一社)日本応用地質学会と研究委員会を開催する。

④ 地質地盤情報電子データ標準化小委員会

国土交通省の委託を受け(一社)日本建築情報センターが開催する社会基盤情報標準化委員会 地質地盤情報電子データ標準化小委員会に(一社)全国地質調査業協会連合会の一員として参加し、物理探査に係わる電子納品の要領を提案し標準化を図る。

⑤ 地質・地盤情報利活用活性化研究会

地質・地盤データの利活用のための法整備を推進する目的で、地質・地盤情報利活用活性化研究会に参加する。

⑥ 海外関連学会

下記関連国際学会の講演会・年次総会に参加して国際交流を深めると共に、国際レベルの物理探査技術を会誌、ホームページ等を通じて紹介する。

- ・ 欧州物理探査学会(EAGE)
- ・ 米国物理探査学会(SEG)
- ・ 環境土木物理探査学会(EEGS)
- ・ 豪州物理探査学会(ASEG)
- ・ 韓国物理探査学会(KSEG)
- ・ 中国石油物理探査学会(SPG China)
- ・ ベトナム物理探査学会(VGA)
- ・ インドネシア物理探査学会(HAGI)

⑦ SEG 教育プログラムの開催支援

海外の関連学会 SEG が主催し、日本国内で実施する下記の物理探査技術の普及・啓蒙活動に対して本年度も参加者の募集、会場の運営等、その支援を行う。

・ SEG 2016 Distinguished Instructor Short Course (DISC)

演 題：3C Seismic and VSP: Converted Waves and Vector Wavefield Applications

講 師：James Gaiser (Gaiser Geophysical Consulting)

日 時：平成 28 年 9 月 26 日

場 所：都内を予定

(5) 技術士継続教育活動

平成 28 年度も関係 7 学協会と連携して生涯学習支援システムの共同運営を継続し、会員の技術士継続教育活動をサポートする。

[5] 物理探査に係る広報活動事業

(1) 物理探査ニュース

「物理探査ニュース」No.30 から No.33 の 4 巻の発行を行い会員に配布するとともに関係機関に配布する。

(2) ホームページ

学会ホームページをさらに見易くかつ親しみやすいものへ更新し、WEB を通じて広報に係る活動を実施する。また、国内在住者を対象にクレジットカードによる学術講演会参加費の支払いがホームページ上からできるように変更する。

[6] 物理探査学に係る研究、活動に対する表彰事業

平成 28 年度において、以下の表彰を行う。

(1) 物理探査学会賞

①論文賞，事例研究賞，業績賞

会誌に発表された論説・論文・短報の中から特に優秀なものに物理探査学会論文賞を，ケーススタディ・技術報告の中から特に優秀なものに同事例研究賞を，また，探査技術の進歩に寄与あるいは著しい探査成果をあげた業績の中から特に優秀なものに同業績賞を授与する。

② 物理探査学会奨励賞

若手会員の活動を評価・支援するべく奨励賞を授与する。

(2) 学術講演会等における優秀発表賞

学術講演会等の活性化と技術の向上を図るため，年齢制限のない優秀発表賞と若手研究者，技術者(35 歳以下)を対象にしたに優秀発表賞を設ける。

(3) 学会運営功績賞

運営発展に特段の功績があった会員あるいは団体に学会運営功績賞を授与する。

(4) 永年在籍会員表彰

在籍 30 年かつ満 70 歳を超える正会員，および在籍 30 年に達した賛助会員とさらに 20 年に達した賛助会員に授与する。

(5) 名誉会員表彰

満 70 歳を超え会長の経験者または物理探査に関する学術，技術の発展に大きな貢献があった会員，あるいは会員歴 30 年以上でかつ 10 年以上本学会の役員を勤め学会の運営発展，学術・技術貢献，学会発展に貢献があった会員に授与する。

[7] その他目的を達成するために必要な事業

学会の活性化を図るため継続して学会業務の I T 化を推進すると共に，学会ホームページの維持管理を行う。

2. 学会の経営・運営に関する会議の開催

[1] 通常総会

平成 28 年 5 月 17 日(火), 東京, 早稲田大学国際会議場井深大ホールにて開催する。

[2] 理事会

平成 28 年度中に 4 回開催する。

[3] 運営幹事会

平成 28 年度中に必要に応じて開催する。

Ⅱ. 平成 28 年度収支予算

公益社団法人 物理探査学会

平成 28 年度予算書

(単位:円)

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	2,100	0	2,100
受 取 会 費	9,582,642	3,574,358	13,157,000
正会員会費収入	5,182,642	3,574,358	8,757,000
賛助会員会費収	4,400,000	0	4,400,000
事 業 収 益	15,508,900	0	15,508,900
開催事業収入	5,401,400	0	5,401,400
受 取 投 稿 料	65,000	0	65,000
頒布事業収入	10,042,500	0	10,042,500
受 取 補 助 金	140,000	0	140,000
受 取 寄 付 金	1,600,000	0	1,600,000
雑 収 入	370,000	0	370,000
経常収益計	27,203,642	3,574,358	30,778,000
(2) 経常費用			
事 業 費 用	27,203,642	0	27,203,642
給 料 手 当	4,696,773	0	4,696,773
臨 時 雇 賃 金	1,050,000	0	1,050,000
退職給付費用	361,290	0	361,290
福 利 厚 生 費	376,345	0	376,345
旅 費 交 通 費	866,033	0	866,033
会 議 費	106,795	0	106,795
通 信 運 搬 費	738,160	0	738,160
消 耗 品 費	188,538	0	188,538
印 刷 製 本 費	4,609,769	0	4,609,769
光 熱 水 料 費	273,207	0	273,207
賃 借 料 費	6,152,820	0	6,152,820
保 險 料	7,527	0	7,527
諸 謝 金	470,000	0	470,000
出 版 物 原 価	4,504,740	0	4,504,740
支 払 負 担 金	199,505	0	199,505
表 彰 品 費	190,000	0	190,000
支 払 手 数 料	211,538	0	211,538
租 税 公 課	610,000	0	610,000
委 託 費	1,371,613	0	1,371,613
雑 費	218,989	0	218,989
管 理 費	0	3,574,358	3,574,358
給 料 手 当	0	1,543,227	1,543,227
退職給付費用	0	118,710	118,710
福 利 厚 生 費	0	123,655	123,655
旅 費 交 通 費	0	140,967	140,967
会 議 費	0	27,205	27,205
通 信 運 搬 費	0	42,043	42,043
消 耗 品 費	0	49,462	49,462
印 刷 製 本 費	0	24,731	24,731
光 熱 水 料 費	0	76,793	76,793
賃 借 料 費	0	1,141,980	1,141,980
保 險 料	0	2,473	2,473
支 払 手 数 料	0	49,462	49,462
支 払 負 担 金	0	23,495	23,495
委 託 費	0	148,387	148,387
雑 費	0	61,768	61,768
経常費用計	27,203,642	3,574,358	30,778,000
評価損益調整前当期増減額	0	0	0

平成27年度 物理探査学会表彰

(1) 第56回(平成27年度) 物理探査学会賞

論文賞

- ・受賞者 : 楠本 成寿
- ・対象論文: 楠本成寿(2015): 重力勾配テンソルの固有ベクトルを用いた断層あるいは構造境界の傾斜角の推定, 物理探査, 第68巻4号, 277-287.
- ・受賞者 : 高見 雅三, 山口 覚
- ・対象論文: 高見雅三・土谷富士夫・山口覚(2015): 季節凍土における電気探査(2)ー比抵抗法二次元解析による比抵抗構造からの凍土挙動の推定ー, 物理探査, 第68巻4号, 289-303.

事例研究賞

- ・受賞者 : 相澤 隆生, 伊東 俊一郎, 青野 泰大, 赤澤 正彦
- ・対象論文: 相澤隆生・伊東俊一郎・青野泰大・落合慶亮・八鳥雄介・中嶋啓太・赤澤正彦(2015): トンネル弾性波探査マニュアル(案)を適用したトンネル地質調査, 物理探査, 第68巻2号, 71-81.

奨励賞

- ・受賞者 : 小暮 哲也
- ・対象論文: 小暮哲也・堀内侑樹・木山保・西澤修・薛自求・松岡俊文(2015): 分布式光ファイバーセンサーによる静水圧環境下におけるひずみ測定, 物理探査, 第68巻1号, 23-38.
- ・受賞者 : 笠松 健太郎
- ・対象論文: 笠松健太郎・山中浩明・酒井慎一(2015): ラブ波を用いた波形インバージョンによる深部地盤の二次元S波速度構造の推定, 物理探査, 第68巻4号, 265-275.

(2) 優秀発表賞

① 第132回学術講演会(東京 早稲田大学)

・口頭発表

楠田 溪(京都大学)

対象: 楠田溪・後藤忠徳: 海洋 CSEM 探査への仮想波動領域法の適用とメタンハイドレート検出感度の向上

辻 健(九州大学)

対象: 辻健・池田達紀・蔣飛: 地中貯留された CO₂ のモニタリングに向けたデジタル岩石物理の導入

池田 達紀(九州大学)

対象: 池田達紀・辻健・渡辺俊樹・山岡耕春: 弾性波アクロスによる浅部構造モニタリングのための表面波解析

・ポスター発表

黒川 雅裕(早稲田大学)

対象: 黒川雅裕・伊藤貴宏・横瀬隆司・田中宏和・竹内睦雄・香村一夫: 電気探査 IP 法を用いた廃棄物埋立層内メタル濃集ゾーンの解明

② 第133回学術講演会(石川 石川県文教会館)

- ・口頭発表
 - 木佐貫 寛（土木研究所）
 - 対象：木佐貫寛・稲崎富士：FWD 舗装構造調査結果と GPR の比較検証
 - 楠田 溪（京都大学）
 - 対象：楠田溪・後藤忠徳：仮想波動領域における人工電流源電磁探査逆解析法の開発
- ③ 第 12 回国際シンポジウム（東京 東京大学伊藤国際学術センター）
 - ・ Best Presentation Award
 - Calin Cosma（Vibrometric Oy）
 - 対象： Large fractures mapping around tunnels by detailed 3D seismic imaging
 - ・ Best Student Presentation Award
 - Bambang Mujihardi（ITB）
 - 対象： Identification of reservoir zones in geothermal field based on Vp, Vs and Vp/Vs

（上記表彰は国際シンポジウム閉会式において実施した。）
- (3) 永年在籍会員表彰
 - ① 在籍 30 年以上，満 70 歳以上
 - 飯沼 清，笠原 順三，廉澤 宏，楠 建一郎，高屋 正，寺島 正浩，内藤 邦夫，早川 清，正木 和明，松枝 富士雄
 - ② 50 年在籍賛助会員
 - 該当なし
 - ③ 30 年在籍賛助会員
 - 該当なし

以上